

# 登山月報

決算理事会・総会を開催	1
新連載 Mountain World 第19回	4
第18回バイオレドールレポート	5
第2回キルギスの山々とルートの紹介	7
AROUND THE MOUNTAIN「山の日を作ろう」	9
寄贈図書	9
JMA	11
植村直巳「冒険の世紀フォーラム」	12

## 平成21年度決算理事会・22年度通常総会を開催

### 平成21年度決算理事会報告

#### 1 日時・場所

平成22年5月16日(日) 午前10時30分～12時00分  
岸記念体育会館・101～103会議室

#### 2 会議の成立状況(定款第26条)

定数31名(定足数22名)/出席者27名/委任4名/計31名

#### 3 出席者

田中文男会長(埼玉)、内藤順造副会長兼専務理事(特別)、神崎忠男副会長(特別)、本木總子副会長(東京)、小野倫夫(北海道)、小島亮治(宮城)、清野孝(山形)、仙石富英(栃木)、西内博(茨城)、佐藤光由(群馬)、青木茂(山梨)、遠藤家之進正和(新潟)、牧野治生(福井)、安藤武典(愛知)、堀井啓介(岐阜)、山並久次(大阪)、遠山誠之介(和歌山)、亀尾崇(鳥取)、天津邦之(島根)、木村康男(香川)、工藤文昭(熊本)、野田孝(鹿児島)、尾形好雄(特別)、寺内丈行(特別)、相良忠麿(特別)、永井豊(特別)、長谷川茂(特別) 各理事 以上27名

(委任者) 中島龍副会長(兵庫)、高山雅夫(千葉)、堀井昌子(神奈川)、北山真(特別) 以上4名

(同席者) 坂口三郎・顧問、山本久子・顧問、国澤静雄・顧問、城隆嗣・顧問、福田昇・監事、岡本忠良・監事

#### 4 田中会長挨拶

お忙しい中での決算理事会です。50周年記念事業、競技全般の普及・指導、人事案件など、多くの審議事項を限られた時間の中ではありますが、十分に審議をして頂き、通常総会に臨みたい、と挨拶。

#### 5 議事役員を選出

定款第25条の規定により田中会長を議長に選出

#### 6 議事録署名人の選出

清野孝(山形) 理事、長谷川茂(特別) 常務理事を指名

#### 7 議事

##### (1)第1号議案 平成21年度事業報告(案)について

尾形事務局長から資料を事前配布しているので、詳細説明は割愛し、各専門委員会担当常務理事から



理事会で挨拶する田中会長

補足説明の後、質疑を受けたいと報告。

安藤：国体監督の資格について伺いたい。

寺内：日本体育協会から平成25年頃から国体の監督は、公認指導員の資格を有する者に順次移行したい旨の通知を受けているが、この公認指導員とは、公認スポーツクライミング上級指導員及び指導員だけではなく、既存の公認指導員資格者(アルパイン)でも、国体監督の資格は取れる。

◎第1号議案、提案通り承認。

##### (2)第2号議案 平成21年度収支決算報告(案)について

相良常務理事より議案書に基づき、平成21年度の収支決算及び一般会計、特別会計の明細説明が報告された。その後、岡本監事より監査報告を受け、質疑を受けた。

◎第2号議案、提案通り承認。

##### (3)第2号議案 平成22年度収支予算に係る付帯議決について

尾形事務局長から平成22年度上期の予算執行をみて予算に変更が生じた場合、補正予算を組んで対処することの承認と補正予算は常務理事会に一任することの承認を求める提案がなされた。

◎第3号議案、提案通り承認。

#### (4)第4号議案 平成22年度正会員の承認について

尾形事務局長より正会員の変更のあった秋山泉(山梨)、宮本義彦(長野)の承認を求める提案がなされた。

◎第4号議案、提案通り承認。

#### (5)第5号議案 特別会員の推薦について

尾形事務局長より特別会員候補者谷口浩平(神奈川県)、青木茂(山梨)の推薦が提案された。

◎第5号議案、提案通り承認。

#### (6)第6号議案 理事候補者の推薦について

尾形事務局長より理事候補者谷口浩平(神奈川県)の推薦が提案された。

◎第6号議案、提案通り承認。

#### (7)第7号議案 国体山岳競技規則の改定(案)について

寺内常務理事より議案書に基づいて国体山岳競技規則の改定(案)について説明。

◎第7号議案、提案通り承認。

#### (8)第8号議案 国民スポーツ登山振興基金特別積立金の取り崩しについて

尾形事務局長より議案書に基づいて、基本財産への繰入のために1000万円を取り崩したい旨について説明。

◎第8号議案、提案通り承認。

#### (9)第9号議案 副会長候補者の推薦について

尾形事務局長より辞任された中島龍副会長の代わりに栗飯原一成氏(京都)を副会長候補者として推薦することが提案された。

◎第9号議案、提案通り承認。

### 8 報告

(1)平成21年度共済会事業報告及び収支決算報告について

(2)平成22年度少年少女登山教室事業について

(3)第49回全日本登山体育大会について

(4)「山の日」制定事業について

(5)50周年記念事業について

以上について尾形事務局長より説明があった。

### 9 閉会

田中会長より議事終了の挨拶がなされ、閉会する。

## 平成22年度通常総会報告

### 1 日時・場所

平成22年5月16日(日) 午前13時25分～15時05分  
岸記念体育会館・101～103会議室

### 2 会議の成立状況(定款第26条)

定数56名(定足数38名)/出席者46名/委任10名/計56名

### 3 出席者

田中文明会長(埼玉)、内藤順造副会長兼専務理事(特別)、神崎忠男副会長(特別)、本木總子副会長(東京)、小野倫夫(北海道)、下山壽(青森)、高橋時夫(岩手)、小島亮治(宮城)、清野孝(山形)、仙石富英(栃木)、西内博(茨城)、佐藤光由(群馬)、堀井昌子(神奈川県)、秋山泉(山梨)、遠藤家之進正和(新潟)、宮本義彦(長野)、松本睦男(富山)、

牧野治生(福井)、滝田博之(静岡)、安藤武典(愛知)、亀井正明(三重)、堀井啓介(岐阜)、伊藤克己(滋賀)、栗飯原一成(京都)、山並久次(大阪)、吉村忠明(奈良)、遠山誠之介(和歌山)、亀尾崇(鳥取)、天津邦之(島根)、京才昭(広島)、小笠原治(山口)、木村康男(香川)、田福正治(徳島)、白石崇(愛媛)、市村藤一(高知)、足達敏則(福岡)、溝上春見(長崎)、工藤文昭(熊本)、後藤利雄(大分)、野田孝(鹿児島)、青木茂(特別)、尾形好雄(特別)、寺内丈行(特別)、相良忠麿(特別)、永井豊(特別)、長谷川茂(特別) 各理事 以上46名

(委任者) 中島龍副会長(兵庫)、高山雅夫(千葉)、佐々木義宗(秋田)、尾形一幸(福島)、村田信親(石川)、蓬郷隆治(岡山)、多田修(佐賀)、冨賀進司(宮崎)、田場典淳(沖縄)、北山真(特別) 以上10名

(同席者) 坂口三郎・顧問、山本久子・顧問、国澤鎮雄・顧問、城隆嗣・顧問、福田昇・監事、岡本忠良・監事

### 4 田中会長挨拶

お忙しい中、通常総会にご出席いただきましてありがとうございます。平成21年度も皆様のご協力により恙無く本会の事業を執行する事ができました。今年は創立50周年を迎え、色々な記念事業を予定しております。本日は、新公益法人化に向けての体制整備、競技全般の普及・指導、人事案件など、多くの議案が用意されています。限られた時間の中ではありますが、十分に審議をして頂きたい、と挨拶。

### 5 議事役員の選出

定款第25条の規定により田中会長を議長に選出

### 6 議事録署名人の選出

定款第30条の規定により佐藤光由(群馬)及び木村康男(香川)を指名

### 7 議事

#### (1)第1号議案 平成21年度事業報告(案)について

尾形事務局長から資料を事前配布しているので、詳細説明は割愛し、各専門委員会担当常務理事から補足説明の後、質疑を受けたいと報告。

安藤：少年少女登山教室事業について、交付金の額を下げてでも幅広く交付していただきたい。

下山：本県でも少年少女登山教室事業は毎年継続してきた事業で、開催を楽しみにしている児童もいる。既に県教育委員会、県体協に本事業の後援申請もしている。交付申請の受付は、総会終了後からにしてもらいたい。

伊藤：少年少女登山教室事業は、地方岳連の活性化に向けて相応しい事業なので、実施したい県にはやらせて貰いたい。

内藤：限られた予算なので難しいが、取り敢えず本年度開催を予定している県は、申請書を提出して貰いたい。それを受けて予算を検討したい。

◎第1号議案、提案通り承認。

## (2)第2号議案 平成21年度収支決算報告(案)について

相良常務理事より議案書に基づき、平成21年度の収支決算及び一般会計、特別会計の明細説明が報告された。その後、岡本監事より監査報告を受け、質疑を受けた。

◎第2号議案、提案通り承認。

## (3)第3号議案 平成22年度収支予算に係る付帯議決について

尾形事務局長から平成22年度上期の予算執行をみて予算に変更が生じた場合、補正予算を組んで対処することの承認と補正予算は常務理事会に一任することの承認を求める提案がなされた。

◎第3号議案、提案通り承認。

## (4)第4号議案 特別会員の承認について

尾形事務局長より特別会員候補者谷口浩平(神奈川)、青木茂(山梨)の承認が提案された。

◎第4号議案、提案通り承認。

## (5)第5号議案 理事の選任について

尾形事務局長より理事谷口浩平(神奈川)の承認が提案された。

◎第5号議案、提案通り承認。

## (6)第6号議案 基本財産の繰入について

尾形事務局長より議案書に基づいて、国民スポーツ登山振興基金特別積立金を1000万円取り崩し、基本財産への繰入れについて説明。

◎第6号議案、提案通り承認。

## (7)第7号議案 副会長の選任について

尾形事務局長より副会長栗飯原一成(京都)の承認が提案された。

◎第7号議案、提案通り承認。

## 8 報告

(1)平成21年度共済会事業報告及び収支決算報告について(尾形事務局長)

(2)平成22年度少年少女登山教室事業について(尾形事務局長)

(3)第49回全日本登山体育大会について(滝田正会員・静岡)

(4)「山の日」制定事業について(尾形事務局長)

(5)国体山岳競技規則の改定について(寺内常務理事)

(6)50周年記念事業について(本木副会長、西内常務理事、尾形事務局長)

(7)平成22年度全国山岳遭難対策協議会の開催について(西内常務理事)

(8)中国青海省玉樹チベット族自治州玉樹県大地震への義援金について(遠藤正会員・新潟)

(9)平成25年度からの公認指導員更新手続きについて(永井常務理事)

以上についてそれぞれの報告者より説明があった。

## 9 閉会

田中会長より議事終了の挨拶がなされ、閉会する。

# 平成22年度第1回理事会報告

## 1 日時・場所

平成22年5月16日(日) 午前15時10分～15時30分  
岸記念体育会館・101～103会議室

## 2 会議の成立状況(定款第26条)

定数32名(定足数22名)/出席者28名/委任4名/計32名

## 3 出席者

田中文男会長(埼玉)、内藤順造副会長兼専務理事(特別)、栗飯原一成副会長(京都)、神崎忠男副会長(特別)、本木總子副会長(東京)、小野倫夫(北海道)、小島亮治(宮城)、清野孝(山形)、仙石富英(栃木)、西内博(茨城)、佐藤光由(群馬)、青木茂(山梨)、遠藤家之進正和(新潟)、牧野治生(福井)、安藤武典(愛知)、堀井啓介(岐阜)、山並久次(大阪)、遠山誠之介(和歌山)、亀尾崇(鳥取)、天津邦之(島根)、木村康男(香川)、工藤文昭(熊本)、野田孝(鹿児島)、尾形好雄(特別)、寺内丈行(特別)、相良忠麿(特別)、永井豊(特別)、長谷川茂(特別)各理事 以上28名(委任者)高山雅夫(千葉)、堀井昌子(神奈川)、北山真(特別)、谷口浩平(特別) 以上4名(同席者)岡本忠良・監事

## 4 田中会長挨拶

総会に引き続いてご苦勞様です。日程の都合もありますので、早速、会議に入りたいと思います。

## 5 議事役員の選出

定款第25条の規定により田中会長を議長に選出

## 6 議事録署名人の選出

定款第30条の規定により野田孝(鹿児島)理事及び青木茂(特別)常務理事を指名

## 7 議事

### (1)第1号議案 平成22年度運営方針について

尾形事務局長より資料に基づき平成22年度は同年の業務運営に加えて50周年記念事業及び公益法人化に向けての体制整備など激務が予想されるので理事各位に協力を願いたい、と要請された後、平成22年度の理事会開催日程(11月14日、3月13日)、評議員会の日程(2月20日)について説明。その他の業務運営等については、常務理事会に一任させていただきたい旨提案される。

◎提案通り承認。

### (2)第2号議案 常務理事の互選について

尾形事務局長から別紙により提案があり、提案通り承認。

### (3)その他

- ・競技者登録規程の改定について(尾形事務局長)
  - ・競技部の運営について(内藤副会長)
- 以上についてそれぞれの報告者から説明があった。

## 8 閉会

田中会長より議事終了の挨拶がなされ、閉会する。



## 第19回 Mountain World

### ネパール/チベット春の総括

池田常道

ヒマラヤ史家ロドリゴ・グランゾットによれば、エヴェレストの登頂者は5月25日をもってついに累計5000を超えたという。今季はチベット側・ネパール側合わせて474人（あくまで仮集計ではあるが）が頂を踏み、一挙に大台に達したものの。1953年の初登頂から1000に達した98年まで45年かかっているが、公募登山隊の隆盛に伴ってその後は上昇一途、わずかに12年で4000を積み上げたことになる。

登山ほんらいの意味では新記録など望むべくもなくなった感のある世界最高峰だが、数字の上では今季もいくつかの更新がみられた。

シェルパ女性ミン・キパが2003年に作った最年少記録15歳はアメリカの少年ジョーダン・ロメロによって13歳と314日に書き換えられ、アパ・シェルパは自ら保持していた最多登頂記録を20回に伸ばした。国・地域別ではオマーン（ハリド・アル・シャビ）、モンテネグロ（ドルジェ・ヴィチッチほか2人）、バングラデシュ（ムサ・イブラヒム）が新たにエヴェレスト・クラブに仲間入りしたほか、最初のフィンランド女性、最初のグアテマラ女性などの記録も生まれた。

死亡事故はチベット側で3件。JICAのトリブバン大学医学教育プロジェクトに従事していた小笠原寛さん（62）は5月24日、シェルパ3人と共に登頂後8500m付近で死亡。米サミットクライム隊のピーター・キンロック（英）は翌日、やはり頂上からの帰途、8600m付近で死亡した。ハンガリーのダヴィッド・ヴァルコニーは4月26日、ノースコルの下で雪崩の犠牲となった。

シルヴィオ・モンディネッリ（イタリア、8000m×14座登頂者）は5月24日に登頂したが、これは自身2回目の無酸素登頂だった。南北両面から無酸素で登ったのはシェルパを含めて8人目だが、ヨーロッパ人としてはメスナー以来2人目となる。同日、オーストリア女性ゲアリンデ・カルテンブルナーも無酸素で登頂、13座目の8000m峰をゲットした。彼女は残るK2に成功すれば、女性では初めての14座無酸素登頂を達成する。

前号に報じたとおり女性初の14座完登を韓国のオ・ウンスンに譲ったスペインのエドウルネ・パサバンは5月17日シシャパンマ（8027m）に登り、2番目の完登者となった。この日はイタリア、スペイン、日本など十数名が頂上を攻撃、最後のスロープでは酸素使用の近藤和美（69）隊がトップを切って頂上に立った。

なお、ルートは北東稜からの危険なトラバース（1964年中国ルート）を避けて、北壁中段をトラバースしてから東稜に抜ける1980年オーストリア・ルートに採られた。2007年にスペインのイニャキ・オチョアが登ってからあらためて見直されたラインだが、オーストリア・ルートは中国ルートを踏襲したものと長い間誤解されてきたもの。これまでは中国ルートの危険性から中央峰（8008m）で満足する隊が多かったが、このルートが再認識されたことによって、今後は直接主峰を目指す隊が増えることだろう。

数少ない巨峰のバリエーションがウクライナ隊（ワレンティン・シモネンコ隊長）によって登られた。マカルー（8463m）の南壁から西稜上部に抜けるもので、5月23日にセルゲイ・ブプリクら3人が頂上に立った。またカザフのデニス・ウルブコは5月16日、サウスコルから直接ローツェ（8516m）頂上に至る新ルートを単独登攀した。

マナスル（8163m）では韓国隊の遭難があった。二つの隊が合同して4月23日に頂上を試みたが、天候悪化で引き返す途中で立ち往生、2人が死亡・行方不明となり、自力下山した1人を除く7人が6500mのC2からヘリで救出された。

ダウラギリ（8167m）では中国隊が遭難した。1960年の初登頂日、5月13日を期して50年目の登頂を企てた一行は攻撃に加わった隊員・シェルパ14人のうち8人が頂上に立ったが、帰途は悪天候のためバラバラになり3人が死亡または行方不明、7人が6800mから6100mの各地点からヘリによって救出された。

このヘリはネパールの航空会社フィッシュテイル・エアが保有するAS（アエロスパシアル）350B3で、スイスの救助スペシャリスト、エア・ツェルマットから人的・技術的援助を受けて昨年秋から活動している。今季は上記マナスル、ダウラギリのほかアンナプルナの6950mからも救助に成功している。7000m近い高度からのヘリ救助はもちろん初めてのことで、ヒマラヤにおけるこの種の活動に新境地を拓いたものとして注目される。

# 第18回ピオレドールレポート

“どこの国の人かなんて関係ない。山を愛している僕らは、  
同じ山言葉を喋っているんだ。”

## Most Beautiful and Representative Climbs

第18回ピオレドールは、5つのノミネートされた登攀の中から、チョ・オユー南壁新ルート登攀と中国天山シュリアン西峰の初登攀という、全く違った性格を持つ二つに輝いた。もちろんそこには勝ちも負けも無い。2009年に世界中で行われた様々な登攀から、より現代の登攀スタイルを代表し、次世代への可能性とメッセージ性のあるものとして選ばれた。

No matter which country you are from, we are all from same place "Mountain" and we all speak same language from "Mountain".

第18回ピオレドールからは幾つかのメッセージがあった。その一つがこれ。

“どこの国の人かなんて関係ない。山を愛している僕らは、同じ山言葉を喋っているんだ。”

これは、ピオレドールという賞が国対抗の競争でも無く、チーム対抗の競争でも無いということを象徴してくれている。

確認しておかなければならないことは、ピオレドールは、一番の登攀を選ぶものでもなく、一番のクライマーを選ぶものでもない。山というフィールドを迫及する者たちが集い、より理想的なスタイルについて意見を交換し合い、評価し合う場といえようか。

つまりピオレドールは客観的に見ていると、より良い登攀に与えられる「賞」なのだが、具体的にはシャモニの街に集って行われる一週間ほどの「クライマーズ・サミット」だ。

ノミネートされたクライマー、審査員、地元のガイド、主催者スタッフ、そして地元の若者クライマー達が共にアルプスを登り、滑り、意見を交換し、更には次のクライミング・トリップや遠征の計画が持ち上がった。

2010年4月5-11日にシャモニとクールマイユールをベースにして行われた、第18回ピオレドールには、5つの登攀がノミネートされた。

① Chang Himnal/Nepal(6750m)North face central pillar by Nick Bullock+Andy Houseman(UK)

② Cho Oyu/Nepal(8201m)Southeast face by Denis Urubko + Boris Dedeshko(Kazakhstan)

③ Gongga Peak 6134/China(6134m) by Mikhail Mikhailov + Alexander Ruchkin(Russia)

④ Pic Pobeda West/Kirghizstan(6955m)North face by Vitaly Gorelik + Gleb Sokolov(Russia)

⑤ Xuelian West/China(6422m)North face by Bruce Normand(Scotland), Jed Brown, Kyle Dempster(USA)

今年はラッキーなことに、ノミネートされたメンバーが全員シャモニに集うことが出来た。しかし、イベント開催期間中に起きたキルギスタンでの革命暴動により、ミハイル・ミハイロフは急遽帰国する事態となってしまった。たった今まで隣でクロワッサンを食べていた人の家族の身が、突然内戦の危険にさらされる——このような事を身近にすると、本当に自分達は平和な環境に置かれているなあと実感する。ロシア人達は、このシャモニに来るためのビザを取るのにも大変な時間がかかったそう。時にはビザが出ないこともある。ヨーロッパへはビザがいらぬ日本人としては申し訳ない思いだ。

今回ノミネートされた5隊のうち3隊のメンバーはロシア系で、登山をするためにカザフスタン人になったウルブコやデデシコ、ロシア国籍だけれどキルギスタンに住んでいるミハイロフとソコロフ。また、シャモニでガイドをしているハンガリー系ルーマニア人クライマーなどは、かつて祖国から脱走して世界中を巡ってフランス人となったとか。

山を登るため（だけでは無いにしても）、色々なバックグラウンドがあり、得るものと（幾つかの）失うものもあり、そんなところから、「我々は同じ言葉を喋る山の人間なんだ」というセリフが出てきたのだ。

## Spirit of Piolets d'Or

昨年の第17回から生まれ変わったピオレドールの意義は、国境を越えて世界で行われた素晴らしい登攀に対する認識を深め、共有しようというもの。美しい登攀と共にその後ろにある冒険性や探究心を評価しようというものだ。



Jury&Nominee\_Machaby

ピオレドール・イベントでは幾度かのプレゼンテーションとディスカッションが行われる。これが無かったらピオレドールの意味は無く、本当の意味での「共感」は無いだろう。同じ目線で、しかし違った角度から彼らの登攀を見る。

今回のピオレドールに我々が選んだ登攀の一つ、天山シュリアン（雪蓮）隊は、それぞれ違う土地に住む4人が一つの目的のために集まり、体と心のコンディションが同じだと確認した3人による熱い登攀だった。“Respect for Climbing Partners”というポイントは、今回強く感じたこと。これは、チョ・オユー隊のデニス&ボリスのプレゼンからも強いメッセージがあった。ボリスがいたからデニスはチョ・オユーのあの登攀に向かえたのだし、このペアだからこそ成し得たラインだった。

もう一つのポイントは、“Boldness（大胆さ）” + “Respect for Life”。このどちらも重要で、冒険性なくして新しい登攀はあり得ない。けれども、命を尊重することは絶対忘れてはいけない。

この二つのポイントに、審査員たちは重きを置いていたと思うし、それを自分も嬉しく思う。個人的に、ノミネートされたクライマーと話をしている共感したのは、限界に近い状況に立った時、本当に自分にとって大切なものが見えるよねってこと。それは家族であり、愛する人であり、仲間であり、そして自分自身の命。

## As a Jury member

今回、私が審査員としてシャモニに来た意義は何か。ノミネートされた登攀を評価する為というよりは、これからのアルピニズム（アルパイン・クライミング）がこうあって欲しいというのを意見交換し合うためだ。

そこにある自然・文化・人を尊重し、共に登る仲間を尊重し、シンプルに、自分たちの技術と想像力で、アートを描くこと。“Spirit of Exploration” + “Imagination” これをベースに、次の世代へのメッセージとすること。まあ、つまりこの思いを持つ

て、ノミネートされた登攀を評価すること=これからのアルピニズムのあって欲しい姿を皆に伝えることだったと思う。それが、今回の審査員全員の共通した想いだった。だからこそ、自分がこの場にいられたことを本当に誇りに思う。ここに存在することのできた全ての幸運に感謝したい。

そして、去年のシャモニ訪問が無かったら、自分は審査員を受け入れていなかっただろう。（もちろん主催者側も私に声を掛けなかっただろうけど！）例えば、昨年のピオレドール受賞があったとしても、ここシャモニに来て、時間と空間を共有していなかったら、未だに私はきっとピオレドールのスピリットとその意義を理解していなかったらと思うから。

今回、審査員という役割を受けるまでにだいぶ悩んだ。山の経験も未熟で、世界中の山岳地域に精通しているわけでもなく、色々な登攀スタイル全てを理解していない。しかし自分に出来ることは、今登っている彼らの中に入っていき、共に語り合うこと、これからの登攀について意見交換すること、自分のやりたい登攀、理想とするスタイルについて語り合うこと。ノミネートされた登攀の内容をもっと知りたい。理解したい。そしてより理想的なスタイルがあるのかを共に考えたい。彼らの山（登攀）に対する熱き想いを知りたい。国や地域、人生経験を越えて同じ目線で同じ言葉（山語？）で語れるって、本当に素晴らしい。こうしてまた更なる可能性が広がっていく。

## \*ピオレドールの評価ベースとして求めるもの\*

登攀スタイル、探究精神、傾倒の度合い、技術的困難度、危険性の回避、最小限の道具、パートナーの尊重、現地の人や他チームの尊重、環境へのローインパクト、そして次世代クライマーへの尊重つまり山を元の姿に残しておくことと次世代の冒険と探究の可能性を残しておくこと。

この他に、ピオレドールのスピリットとして、アルピニズムの歴史と今後のアルピニズムのあり方についての認識を共有すること。

AnnaLindsayKeiJordiAndrejBruceKyleJedRobert+mayorsBorisDenis







# キルギス 登山ガイド・ポーター協会奮闘記 第2回 キルギスの山々と代表ルートを紹介

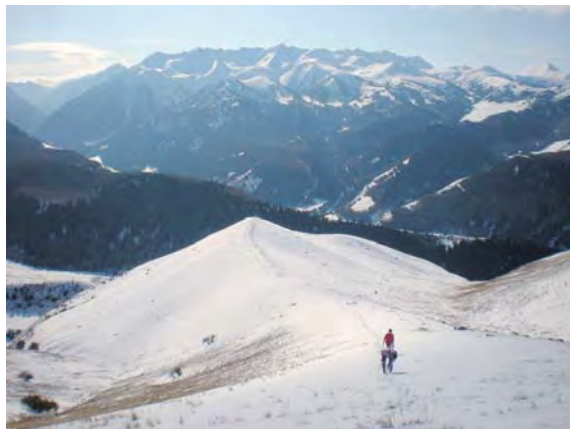
キルギス共和国イシククル州登山ガイド・ポーター協会

(独立行政法人 国際協力機構 (JICA) より青年海外協力隊として派遣)

鈴木翔太



▶ テレスケイアラトー山脈  
▶ ハンテングリ



キルギスでは4月上旬に前政権の汚職や公共料金の大幅値上げ等に対する抗議デモ・暴動に端を発し、前大統領が国外へ脱出し、暫定政権が樹立される事態が発生しました。5月現在、一連の政変は基本的に治まり、治安も概ね政変前の平穏な状況に戻っています。これから観光シーズンを迎えるにあたり大きな痛手ではありますが、幸か不幸か国としての知名度は大きくアップしたので、現在の平穏な状況が続き、いづれ以前にも増してより多くの観光客がこの地を訪ねてくれることを信じています。

今回はキルギスの代表的な山々とルートを紹介致します。代表的な山としては、国内最高峰であるポベダ峰 (7,439m)、ピラミダルな形のハンテングリ (7,010m)、7,000m峰としては登りやすいと言われているレーニン峰 (7,134m) 等です。これらの山々は、中国やカザフスタン、タジキスタンとの国境付近に位置しており、例えばハンテングリの場

合は最寄りの街から5日間 (ヘリコプターを利用すれば30分) かかるように、アプローチに少し時間を要しますが、見渡す限り高い山々が広がる雄大な景色が望めます。また、治安の状況から現在は難しいのですが、キルギスの南西部にあるカラフシンというエリアには、いくつものビッグウォールがあり、かつてトミー・コールドウェルや山野井泰史さんが訪れたこともあります。

また、そこまで行かずともキルギスは国土の90%以上が山岳地帯なので、街から近いエリアでもトレッキングやクライミングが楽しめます。

例えば、私の活動しているカラコルという街を起点にする場合には、天山山脈やその北側にあるテレスケイアラトー山脈でトレッキングやクライミングをすることができます。お勧めのスポットは、ジェティオグズ奇岩、アラコル湖、アルティンアラシャ

▶ ジェティオグズ奇岩



HANDY GPS RECEIVER & LOGGER **ATLAS** ASG-10 販売価格 18,900円(税込)

**正確な位置情報があなたを助ける!**

- 3つのセンサー(加速度・方位・気圧)で正確な位置・移動情報を表示
- 事前プランニングで楽しさ倍増!
- 軌跡表示で目的地に誘導
- 23種の多彩な表示項目

株式会社 コピテル 〒109-0023 東京都港区芝浦4-12-33  
TEL 03-3769-2525 FAX 03-3769-2520  
お問い合わせ先: アトラス事業部 山下まで  
<https://atlas.yupiter.co.jp>  
※ご購入は弊社ホームページからアトラスクラブに加入(無料)し、直接購入もできます。



ン温泉等です。ジェティオグズ奇岩は、キルギス語で七頭の雄牛という意味で、赤い砂岩でできた7つの奇岩群です。アラコル湖は標高3,500mにある、天候によって湖面の色が様々な色に変わるといふ非常に美しい湖です。アルティンアラシャン温泉は、パトカ峰(5,020m)を望むアラシャン谷の中に位置する天然温泉で、温泉施設もあります。

私のお勧めのトレッキング・ルートは、5日間かけてジェティオグズ奇岩、アラコル湖、アルティンアラシャン温泉を訪れるルートです。ルートは基本的に渓谷をつなげていきますが、標高2,200mから3,800mの間でアップダウンがあります。残念ながらルート中には山小屋のような宿泊施設はなく、基本的にテントでの宿泊になるのですが、その分手付かざるの自然を楽しむことができます。また、ジェティオグズ付近では、高山植物の花畑が広がっており、日本ではなかなか見られないような種類の花も沢山見ることができます。



▲アルティンアラシャン温泉

基本的にテントでの宿泊になるのですが、その分手付かざるの自然を楽しむことができます。また、ジェティオグズ付近では、高山植物の花畑が広がっており、日本ではなかなか見られないような種類の花も沢山見ることができます。



## △△△ 「山の日」をつくろう △△△

わが国の国土は、7割近くが広い意味での山であり、多くを森林が覆っています。古くから日本人は山を信仰の対象として崇め、森林の豊かな恵みに感謝し、自然とともに生きてきました。山の恩恵は渓谷の清流を生み、わが国を囲む海へと流れ、生きとし生けるものを育てるだけでなく、豊かな心をも育んできました。わが国の文化は、「山の文化」と「海の文化」の融合によってその根幹が形成されてきたとされています。

わたしたち山を愛する5つの山岳団体は、国民祝日としての「山の日」制定を提案します。「山の日」は、日々の生活と文化に結びついた山の恵みに感謝するとともに、美しく豊かな自然を守り、育て、次世代に引き継ぐことを国民のすべてが銘記する日です。この運動を通じてわたしたちは、登山者の安全と健康に寄与し、登山の楽しみを広く伝えたいと願います。すでに祝日となっている「海の日」と対をなして、日本に住むすべての人々が、山という自然を見つめなおし、深いかわりを感じる日にしたいと思います。

わたしたちの提案に賛同され、より多くの方々、団体より、ご理解とご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

### 「山の日」制定協議会

- (株)日本山岳協会 ▶ <http://jma-sangaku.org>
  - 日本勤労者山岳連盟 ▶ <http://www.jwaf.jp>
  - (株)日本山岳会 ▶ <http://www.jac.or.jp>
  - (株)日本山岳ガイド協会 ▶ <http://www.jfmgga.com>
  - HAT-J (日本ヒマヤン・アドベンチャー・トラスト) ▶ <http://www.hat-j.jp>
- \*「山の日」制定協議会は上記の山岳5団体により2010年4月発足しました。

## ■自然保護指導委員総会のお知らせ

50周年記念の総会は新潟県山岳協会が中心となり、柏崎市高柳町「じよんのび温泉」での総会です。

「じよんのび」とは「ゆったり、のんびり、芯から気持ちがいい」という意味のお国ことば。総会での全国自然保護委員長会議は初めての取り組みです。

- 1、日 時 平成22年9月12日(土)～12日(日)
  - 1日目 全国自然保護委員長会議、総会、講演、交流会
  - 2日目 2コースから選択 ①地元の里山：黒姫山登山コース  
②棚田見学コース
- 2、場 所 新潟県柏崎市高柳町高尾「じよんのび温泉施設」
- 3、詳しいご案内は次号で行います。

長谷川 茂：自然保護委員長

## ネパールに行くなら、風の旅行社にお任せ下さい。

元々はネパールから始まった風の旅行社。ネパールに支店も構えています。専門知識と経験で、皆様をがっちりサポートいたします。

**株式会社 風の旅行社**  
観光庁長官登録旅行業第1382号 日本旅行業協会(JATA)正会員  
 総合旅行業取扱管理者 原/小宮山

〒165-0026 東京都中野区新井2-30-4 1F,0ビル 6F  
**TEL.0120-987-553** FAX.03-3228-5174  
 〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田2-5-25 ハービスPLAZA3F  
**TEL.0120-987-803** FAX.06-6343-7518

URL <http://www.kaze-travel.co.jp/> e-mail [info@kaze-travel.co.jp](mailto:info@kaze-travel.co.jp)

## 寄贈図書

### ●寄贈本●

鈴木みき

悩んだときは山に行け!

神戸大学山岳会 山岳部

山と人 第18号

勝峰富雄 山で見た夢

### ●雑 誌●

東京新聞出版局 岳人 6月号

山と渓谷社 山と渓谷 6月号

中国登山山岳会 山野4・5月号

### ●会 報●

(財)健康体力づくり事業財団

玲峰グループ

日本山岳写真協会

福岡山の会

横浜山岳会

(財)国立公園協会

(株)韓国山岳連盟

F E E C

(財)日本武術太極拳連盟

高校生新聞社

(財)日本体育協会

(財)全日本ボウリング協会

(財)日本ゲートボール連合

FEDME

日本勤労者山岳連盟

(財)日本オリンピック委員会

東京野歩路会

Korean Alpine Federation

(財)日本万歩クラブ

(株)日本山岳会

HAT-J

白河山岳会





平成22年度 5月 (22年 5月)

常務理事会議事録

日時 5月6日(木) 17:30～21:00

場所 岸記念体育会館103会議室

出席者 田中会長、内藤副会長、神崎副会長、本木副会長、西内、佐藤、堀井、青木、尾形、北山、相良、寺内、永井、長谷川各常務理事、谷口

委任 中島副会長、仙石、高山常務理事

(17名中14名出席)

1. 専門委員会動静

4月常務理事会以降

(4月8日～5月5日)

〔報告〕

(1)海外委員会 4月13日(火) 出席者10名

ア 第48回海外登山技術研究会の反省について

イ 平成22年度海外委員総会開催について

・講師予定：神長善次(前ネパール大使)、猪熊隆之(気象予報士)  
・平成23年度の委員総会は、山梨岳連が主管(平成23年6月第3週)

ウ 第49回海外登山技術研究会の日程について

・第49回海登研は、日帰り日程での開催とする。(平成23年1月30日)

エ その他

・第6回山岳スキー競技日本選手権の報告

・50周年記念リーフレットの作成について

・U A A A理事会について 田中会長、笹生委員が出席

(2)広報委員会 4月13日(火) 出席者8名

ア 5月の登山月報予定

イ H P : PHASE III～委員会専用ページについて

エ 日山協のリーフレットについて

ア 中・高年安全登山指導者講習会について

・各岳連の状況確認の報告

・山梨・講義内容(検討案)について

・広島・講義内容(検討案)について

・予算関係について

イ 第49回全日本登山体育大会(静岡)開催要項について

・50周年記念行事としてのテーマ「富士山と南アルプスの自然保護を考える」

・一部コース変更の報告(D, Eコース)

・環境省名義後援申請の進捗について

ウ 少年少女登山教室(立山)について

・ポスター、案内チラシの制作、配布

エ 50周年誌の原稿について

(4)競技委員会 4月15日(休) 出席者11名

ア 競技委員総会の報告について(月報にて報告)

イ 第6回山岳スキー競技大会の報告について

ウ 第24回リードジャパンカップの進捗状況について

エ 後催県の準備状況について

オ ブロック大会における種別順位決定方法の改訂について

カ 2010 I F S C ルールブックの改正点の新規則への取り組みについて

キ J O C ジュニアオリンピックカップ大会について

ク 2011年10月ワールドカップ印西大会の予定について

(5)アンチ・ドーピング委員会 4月15日(休) 出席者3名

ア 平成22年におけるドーピング検査計画

イ 公認スポーツファーマシストについて

西嶋久貴氏(東京都山岳連盟)を基礎講習会受講者として推薦する

ウ 平成22年度第1回加盟団体連絡会議兼ドーピング防止研修会について

堀井、西谷、中川が出席

エ (財)日本アンチ・ドーピング機

【50周年記念募金協力者ご芳名】

(6月11日現在)

60口・近畿地区山岳連盟、30口・瀬田工業、6口・東商アソシエート、西内博、北丹沢山岳センター、4口・八木原園明、2口・松本睦男、永山義春、橋本正巳、尾形一幸、高倉敦、窪木茂美、柳下明男、後藤利雄、石丸芳子、吉田元、榎本幸二郎、1口・片山重勝、白石久夫、常世寛、安藤昌宣

総額：234口・117万円

構認定アンチ・ドーピングマスター制度について

今回は推薦しない。

(6)自然保護委員会 4月20日(火)

出席者12名

ア 50周年記念事業の取り組みについて

イ 平成22年度自然保護委員総会について(9/11～12)

・新潟県山岳協会との打合わせ報告

ウ 第1回自然保護委員会研修山行について

・6/19～20、尾瀬・帝釈山・会津駒

エ 自然保護指導員登録の承認について

オ 50周年記念誌の原稿執筆について

カ 野生鳥獣目撃レポートについて 自然環境連絡会の統一活動としてパンフレットの作成

キ その他

J A Cのシンポジウム(6月開催予定)を自然環境連絡会でサポートする件

自然保護委員会の副委員長及び委員変更の件

(7)広報委員会 4月24日(出) 出席者5名

ア 50周年記念誌の広報委原稿について

(8)医科学委員会(メールでの連絡)

ア 50周年記念リーフレット作成について

海外委員会と共同で作成中

イ 第30回日本登山医学会学術集会について

期日：5月8日(出)～9日(回)

会場：みなかみ町水上館谷川ホール

※9日はフィールドワーク企画として山岳救助訓練が予定。

# あなたの保険は、 安心して登山ができる保険ですか。

自分だけは安全、と思いがちですが、  
年間遭難者数は約2,000人です。

## ■平成20年 山岳遭難の概況

(警察庁生活安全局地域課 平成21年7月3日)

発生件数 **1,631** 件

遭難者数 **1,933** 人

死者・行方不明者 **281** 人

詳しくは → [www.jma-sangaku.org](http://www.jma-sangaku.org)

お問い合わせは

**日本山岳協会 山岳共済会**

事務委託：日本山岳協会山岳共済事務センター  
月～金 10:00～17:00 (土・日・祝日除く)

〒170-0013 東京都豊島区東池袋 3-7-11-707  
TEL：03-5958-3396 FAX：03-5958-3397  
E-mail: sangakukyousai@mbd.ocn.ne.jp



## 2. その他の重要事項

(4月8日～5月5日)

### 〔報告〕

- (1) UIAA登山委員会  
4月9日(金)～11日(日)  
於：スペイン (Montserrat)  
青山遭対副委員長
- (2) 「山の日」制定協議会 4月9日(金)  
於：岸記念体育会館  
尾形常務理事
- (3) 50周年記念パルドール・ピーク  
登山隊先発出発 4月9日(金)  
於：成田空港 八木原隊長
- (4) 山岳スキー競技・中国選手団来日  
4月9日(金)  
於：成田空港 神崎副会長
- (5) 遭難対策常任委員研修会  
4月10日(土)～11日(日)  
於：埼玉県伊奈町・県民活動総合センター 西内常務理事ほか
- (6) 第6回山岳スキー競技日本選手  
権大会 4月10日(土)～11日(日)  
於：杣池高原 本木副会長、寺  
内常務理事ほか
- (7) 50周年記念パルドール・ピーク  
登山隊本隊出発 4月14日(火)  
於：成田空港 尾形常務理事
- (8) 50周年記念ポスター制作打合わせ  
4月15日(水)  
於：事務局 尾形常務理事
- (9) 山岳遭難・捜索保険打合わせ  
4月16日(金)  
於：事務局 尾形常務理事
- (10) 日体協加盟団体事務局長会議  
4月20日(火)  
於：岸記念体育会館地下3F講堂  
尾形常務理事
- (11) 2009年度ミズノスポーツメン  
トール賞表彰式 4月21日(水)  
於：グランドプリンスホテル新  
高輪 尾形常務理事
- (12) 平成22年度第1回加盟団体連絡  
会議兼ドーピング防止研修会  
4月22日(木)  
於：国立スポーツ科学センター  
研修室A・B 堀井常務理事、  
西谷常任委員、中川事務局員
- (13) 大森薫雄顧問ご逝去 4月24日(土)
- (14) 50周年記念事業「海外登山隊  
クロニクルThe Everest Day」  
4月24日(土) 於：国立オリン  
ピック記念青少年センター  
田中会長、内藤、神崎、本木副

- 会長、尾形常務理事
- (15) 会長・副会長選考委員会  
4月25日(日)  
於：岸記念体育会館504会議室  
田中会長、内藤副会長、尾形常  
務理事
  - (16) 「山の日」制定記者発表  
4月26日(月)  
於：東京運動記者クラブ  
本木副会長、尾形常務理事
  - (17) 故大森薫雄顧問、通夜  
4月26日(月)  
於：エヴァホール横浜  
田中会長、本木副会長、尾形常  
務理事
  - (18) 会計監査 4月26日(月)～27日(火)  
於：岸記念体育会館504会議室  
福田、岡本監事、田中会長、相良、  
尾形常務理事、秋山事務局員
  - (19) JOCコーチ会議  
4月27日(火)  
於：味の素ナショナルトレーニ  
ングセンター 小日向、西谷常  
任委員、中川事務局員
  - (20) 50周年記念パルドール・ピーク  
登山隊帰国 5月2日(日)

### 3. 議事

- (1) 平成22年度4月常務理事会議事  
録の承認について（一部加筆訂  
正で承認）
- (2) 平成22年度決算理事会の議案  
について（一部議案訂正及び報  
告事項の加筆で承認）
- (3) 平成22年度通常総会の議案に  
ついて（一部議案追加で承認）
- (4) 国民スポーツ登山振興基金特別  
積立金の取り崩しについて（提  
案通り承認）
- (5) 登録選手の制裁について（会長  
案で承認）
- (6) 平成22年度生涯スポーツ功労  
者候補の推薦について（事務局  
一任で承認）
- (7) その他
- (8) 報告事項  
ア 50周年記念ポスター(案) について  
イ 50周年記念リーフレット(案) について  
ウ 50周年記念事業募金状況について  
エ 平成21年度日体協加盟団体ス  
ポーツドクター代表者協議会報告  
オ 平成22年度少年少女登山教  
室事業の申請状況について

- カ 平成22年度共済会事業の申  
請状況について
- キ 競技者登録規程の改訂(案)  
の提案変更について
- ク 「山の日」制定活動について
- ケ 第6回山岳スキー競技日本選  
手権大会報告
- コ 第13回JOCジュニアオリ  
ンピックカップ開催要項について
- サ 遭難対策委員総会開催要項に  
ついて
- シ 国際委員総会及び第29回海外  
遭難対策研究会開催要項につ  
いて
- ス 日本チーム(W/C)のユニ  
フォームについて
- セ 2011年ワールドカップ開催  
(10月)の件
- ソ 50周年記念事業について  
・パルドール合同登山隊の報告  
・海外登山隊・クロニクル「The  
Everest Day」の報告  
・みんな集まれ！ジュニア登山教  
室のチラシ、ポスターの配布に  
ついて

### 4. 役員等の派遣について

- (1) 社団法人山岳ガイド協会懇親会  
5月18日(火) 於：弘済会館「梅」  
田中会長、本木副会長
- (2) 日体協競技団体評議員連合会幹  
事会 5月18日(火)  
於：岸記念体育会館 田中会長
- (3) 平成22年度選手強化事業事務  
説明会 5月19日(水)  
於：岸記念体育会館504・505  
会議室 中川事務局員
- (4) 第68回国体東久留米市準備委  
員会設立総会 5月20日(木)  
於：東久留米市役所  
寺内常務理事
- (5) U A A A 理事会  
5月21日(金)～23日(日)  
於：キルギス (Bishkek)  
田中会長、笹生常任委員
- (6) 日体協競技団体評議員連合会総  
会 5月27日(木)  
於：岸記念体育会館 田中会長
- (7) 50周年記念スティーブ・ロン  
グ氏講演会 5月30日(日)  
於：早稲田大学国際会議場  
田中会長、内藤、本木副会長、  
西内、青木、尾形常務理事
- (8) 勤労者山岳連盟創立50周年記



- 念祝贺会 5月30日(日)  
於：リーガロイヤルホテル東京  
田中会長、内藤、本木副会長、  
西内、長谷川、尾形常務理事
- (9)50周年記念スティーブ・ロン  
グ氏講演会 6月1日(火)  
於：札幌エルプラザ 小野理事
- (10)第65回ゆめ半島千葉国体山岳  
競技第2回基準会議 6月4日(金)  
於：印西市総合体育館  
高山、寺内常務理事
- (11)50周年記念スティーブ・ロン  
グ氏講演会 6月5日(土)  
於：エルおおさか 西内常務理事
- (12)第24回リードジャパンカップ千  
葉大会・ゆめ半島千葉国体リハー  
サル大会 6月5日(土)～6日(日)  
於：印西市総合体育館 田中会  
長、高山、北山、寺内常務理事
- (13)財スポーツ安全協会評議員会・  
理事会 6月11日(金)  
於：東海大学校友会館  
田中会長
- (14)平成22年度指導委員総会  
6月12日(土)～13日(日)  
於：東京晴海海員会館  
田中会長、永井、尾形常務理事
- (15)財JOC総務委員会 6月15日(火)  
於：岸記念体育会館  
尾形常務理事
- (16)海外委員総会・海外遭難対策研  
究会 6月19日(土)～20日(日)  
於：栃木・日光市交流促進セン  
ター 青木常務理事
- (17)スポーツクライミング上級指導



### (社)日本山岳協会創立50周年記念

## 「冒険の世紀」フォーラム

### — 植村直己5大陸最高峰世界初登頂40周年 —

期 日	2010年7月24日(土) 13時30分～17時
会 場	学術総合センター・一橋記念講堂
主 催	(社)日本山岳協会、(社)日本山岳会、毎日新聞社、植村冒険館
主 管	毎日新聞社
日 程	14:00～14:10 ご挨拶 14:10～14:50 ビデオ上映「植村直己冒険の全記録」 14:50～15:30 トーク「あの人(は)は風でした—植村直己さんを語—」 15:50～17:00 ディスカッション 「冒険の世紀」—受け継がれる挑戦の系譜— 田部井淳子(世界女子エベレスト初登頂者) 日下田 實(マナスル初登頂者、毎日新聞元記者) 大場 満郎(冒険家)(以上予定) 司会：野村隆宏(毎日新聞社運動部長) 17:30～19:00 関係者懇親パーティ 若手登山家の激励会



### 「冒険の世紀」植村直己43年の奇跡写真展

期 間	2010年8月23日(月)～8月28日(土)
会 場	アートサロン毎日 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル1F

- 員養成講習会  
6月19日(土)～20日(日)  
於：山梨・小瀬スポーツ公園  
永井、寺内常務理事
- (18)遭難対策委員総会  
6月26日(土)～27日(日)  
於：神奈川大学箱根保養所  
田中会長、西内、尾形常務理事
- (19)平成22年度全国高体連登山大  
会 8月6日(金)～10日(火)  
於：高千穂峰、韓国岳、中岳  
田中会長、神崎副会長

### 5. 後援、協賛等の依頼について

- (1)高尾山子ども冒険学校  
—子どもたちよ、冒険者たれ—  
(提案通り承認)
- (2)第11回KAZOクライミングカ  
ップ2010 (提案通り承認)
- (3)コバトンカップ・ボルダリン  
グ in RC川越 (提案通り承認)

### 6. 報告

- (1)自然保護指導員の承認 なし
- (2)指導員の認定承認  
① 上級指導員 なし  
② 指導員 なし

【お詫び】登山月報第494号に氏名が記載できませんでした。謹んでお詫び申し上げます。

- ①上級指導員  
大阪3名(山田まゆみ、吉田智美、水田弘之) 神奈川3名(古屋直樹、森秀光、松井一夫)
- ②指導員  
神奈川6名(園田誠、西村光秀、島貫俊行、内村利宏、武村恵理子、工藤江美) 北海道15名(安藤忠幸、加藤廣美、川島教実、後藤貴之、堅谷淳、為野宜己、千田榮三、西田芳鷹、ベンジョンソン、本間浩樹、松原信自、山田恭久、下山シゲ子、堅谷典子、田中清子) 宮崎15名(藤本博幸、尾形仁巳、岡田昌人、谷口保男、田中祥也、橋迫香代子、澤田千恵子、小坂ゆみ子、村岡俊雄、金丸武司、今村正美、河野智也、宮路充治、森島愛子、齊藤弘毅) 岩手1名(齋藤政人) 茨城6名(山本廣巳、高橋正樹、上田正之、山戸剛、黒澤良雄、加藤早苗)
- ③スポーツクライミング上級指導員専門科目修了者54名(中瀬和徳、中村正、柳瀬直子、堀之内幸子、藤江理枝、目次容子、飯田ゆか、大井将生、土屋正昭、広沢誠吉、六反篤司、久保田修弘、尾山浩治、土肥浩嗣、今井治二、石倉規世、林干里夫、瀧本健、原和雄、広瀬郁子、中尾敏宏、西守信二、庄司勝己、江平尚志、方山文生、松崎文彦、増田正治、高橋留智亜、江崎幸一、山納秀俊、三和史朗、寺内文行、篠崎喜信、有枝樹雄、西嶋久貴、森下健七郎、目次俊雄、佐藤豊、森茂、松下喜美子、井納吉一、永井豊、大曾根弘、鈴木由郎、菅野富壽、橋村昭男、下村真一、新原孝喜、福原正夫、広瀬政廣、西村良信、佐原晴人、森本寛、石井昭彦)
- ④スポーツクライミング主任検定員23名(寺内文行、篠崎喜信、有枝樹雄、西嶋久貴、森下健七郎、目次俊雄、佐藤豊、森茂、松下喜美子、井納吉一、永井豊、大曾根弘、鈴木由郎、菅野富壽、橋村昭男、下村真一、新原孝喜、福原正夫、広瀬政廣、西村良信、佐原晴人、森本寛、石井昭彦)

### 登山月報 第495号

定 価	100円(送料別)
予約年間	1、200円送料共
	昭和45年12月12日 第三種郵便物認可 (毎月1回15日発行)
発行日	平成22年6月15日
発行者	東京都渋谷区神南1の1の1 岸記念体育会館内 社団法人日本山岳協会
電 話	03-3481-2396
F A X	03-3481-2395